



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立大槻小学校
学校だより No.63
令和4年 2月16日
文責：校長 酒井 健

◇登校日は残り23日・・・卒業まで、修了までカウントダウンです。

「学校だよりNo.54」で、「1月は行く 2月は逃げる 3月は去る」というお話をしました。3学期が始まったかと思いきや、すでに2月に入り、あっという間に中旬です。子どもたちが登校する日は、あと23日となってしまいました。1年生から5年生までの子どもたちは、修了まで、そして、6年生は卒業までもう少しです。

これからの期間、子どもたちが、一日一日を大切に心に刻んでいくことができるように、しっかりと見守っていきたいと思います。コロナ感染に十分注意しながら、ご家庭においても子どもたちの体調管理をお願いいたします。

◇アルコールジェル、アルコール除菌シートがプレゼントされました。

先日、各ご家庭にお配りしましたが、今回、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「ゼビオコーポレート株式会社」からアルコールジェル（500ml）とアルコール除菌シート（50枚入り）が教育委員会を通して寄付されました。

まん延防止等重点措置が出ている中ではありますが、郡山市は毎日、たくさんの感染者が確認されている状況であります。まん延防止等重点措置については、福島県知事から政府へ延期の要請も出されています。気を緩めることなく、ご家庭においても、感染対策の徹底をお願いいたします。

このアルコールジェルとアルコール除菌シートは、ご家庭での除菌対策の一つとして、有効にご活用ください。



◇「授業参観」中止について・・・苦渋の決断でした。

先日、学校からのお知らせでもお伝えしましたが、2月24日・25日の2日間に分けて「授業参観」を実施する予定でありましたが、感染拡大防止のため、残念ながら中止の決断をいたしました。

学校での子どもたちの様子を参観していただきたいという想いで、方別に分けて人数の制限をした上で開催を決めていました。しかし、オミクロン株の感染拡大と重なってしまったことで、学校で検討を重ねてきましたが、まず大切なことは「子どもたちの安全・安心である」という結論となりました。

保護者の皆様も楽しみにしておられた方も多いと思いますが、本当に苦渋の決断でした。来年度は、ぜひ、授業参観が普通に開催できることを私たちも楽しみにしております。



校長のひとりごと

今から33年ほど前、平成元年度のお話です。この年、初任者として、私はいわき市の平駅のすぐそばの大きな学校に赴任しました。受け持ったクラスは5年2組、子どもたちは40人です。若き青年教師は、何事にも燃えていました。体育では、倒立前転の見本を見せ、休み時間は、校庭で本気でドッジボールで遊び、放課後も特設合奏部で音楽指導にあたり・・・、授業では、子どもたちにとって楽しい授業、真剣に考えることができる授業を目指し、日々、奮闘していました。ある日のこと、図工で絵を描く授業で、ある女の子の絵を見て、何か物足りなさを感じた私は、「ここは、こんな風にするといいんじゃない」と絵に描き足してしまいました。「よかれ」と思ってやったことは、実は、その女の子の意図しているものとは全然違うものでした。その後が大変。女の子は泣き出すし、そのまわりにいた女の子たちは「〇〇ちゃん、かわいそ〜」が始まるし・・・。何かやっている時の子どもたちは、自分の想いをしっかりと持ってやっているんだということを、この時、知りました。

この子どもたちを卒業させてから、16年後、この女の子の結婚式にご招待を受け、恩師としてスピーチも行いました。この「描き足し事件」のことも述べました。同級会も、いわき市で定期的に行っています。（最近はコロナでできませんが）この時の子どもたちも、今では45歳、みんなステキな大人です。自分にとって「子どもたちの本質」をいろいろと教えてくれた子どもたち・・・教え子って、いつまで経っても、かわいい少年・少女なんですね。

